

千代田町長 高 橋 純 一 様

千代田町議会
議長 柿 沼 英 己

町の行政施策に関する要望書

秋涼の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、議会では、総務産業常任委員会、文教民生常任委員会の両委員会において、町行政施策の推進や課題の解決に向け、管内視察等を行い調査・研究を実施してまいりました。また、委員会における執行部との意見交換においても、現状や町の考え方を伺う事が出来ました。

両常任委員会としましては、町行政施策の進展に寄与することを目的として委員会ごとに意見集約を行い。議会として貴職に対し要望書を提出することを決定いたしました。

つきましては、本要望書の趣旨をご理解いただき、これから始まる来年度の予算編成において、下記事項のとおりご検討いただきますようお願いいたします。

記

○総務産業常任委員会要望事項

- (1) 災害時におけるマイタイムラインの周知・徹底について
- (2) A I 音声認識システムの調査・研究について

※「A I」とは、人のような知的な情報処理を実現するソフトウェアのこと。

○文教民生常任委員会要望事項

- (1) 通園・通学路の安全安心対策
- (2) I C T教育の先進地として町内小中学校にまんべんなく波及すること

※「I C T」とは、情報通信技術のこと。

- (3) 乳幼児から高齢者が安全で安心して活動できる居場所づくり

○両常任委員会の共通要望事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症に関わる対策、及び支援策を継続して行うこと

以上